

議題資料 1

沖縄県警戒レベルの移行について

「新レベル分類」における レベル判断に関する「指標」及び「事象」		現在の状況	
指標	①病床使用率（国基準）	31.7%（12/21時点） ※レベル2相当	
	②重症者用病床使用率（国基準）	6.3%（12/21時点） ※レベル1相当	
事象	保健医療の 負荷の状況	外来医療の状況	感染症専門家会議の委員からは、患者の増加による診療制限を行っている医療機関はないものの、地域によっては医療従事者の休業者の増加や院内感染の発生もみられ、保健医療への負荷は徐々に高まっていることから、レベル2への移行は概ね妥当との意見であった。 県立病院において、多くの機関では発熱・救急外来がひっ迫がみられる状況にはないものの、一部の機関では発熱患者の増加がみられる。
		救急医療の状況	一部の医療機関で土日の小児救急患者の増加がみられるものの、現場に大きな負荷がかかっている状況ではない。
		入院医療の状況	重点医療機関の医療従事者の欠勤者は12月に入り200名を超える状況で推移しており、入院医療への負荷が高まっている。
		社会福祉施設等療養状況	施設内療養者数は、12/20時点で198名となっており、12月に入り増加している。
		その他	例年、冬場は救急受診者数が増加する傾向。 季節性インフルエンザは非流行期（第49週 12/5-12/11時点）
		社会経済活動の状況	職場等での欠勤者の状況
	感染状況	陽性者数の増加	新規陽性者数は11月19日以降、前週比1を超える状況が続いている。（12/21時点）

上記表のとおり、指標「病床使用率」は30%超とレベル2相当の水準となり、上昇傾向が続いている。
事象における「社会経済活動の状況」は、事業者の業務継続に支障が生じるまでの感染状況とはなっていないものの、「保健医療への負荷の状況」及び「感染状況」は徐々に悪化しており、今後も同様の傾向が続くと考えられる。

以上の指標及び事象を総合的に勘案し、**沖縄県の警戒レベルを「レベル1（感染小康期）」から「レベル2（感染拡大初期）」に移行する。**

感染拡大を抑制し社会経済活動を継続するための対策期間

【要請期間】 令和4年12月22日(木) ~ 令和5年1月13日(金)

基本的な考え方	感染拡大を抑制し、社会経済活動を継続するため、新型インフルエンザ等対策特別措置法(以下「法」という。)第24条第9項により県民・事業者等に対して必要な協力を要請するとともに、働きかけを行う。
区 域	沖縄県全域
現 況	<p>沖縄県では、11月以降、新規陽性者数の増加が継続しており、地域によっては医療従事者の休業者の増加がみられます。</p> <p>病床使用率は、12月14日以降、30%台で推移しております。高齢者施設等における療養者数は、12月20日時点で198名となるなど、12月に入り増加しております。</p> <p>救急の現場に大きな負荷はかかっておりませんが、毎年冬場には、救急受診者が増加する傾向にあり、感染が広がると、負荷が増大する懸念があります。</p>
県の方針	警戒レベルを2に引き上げて感染対策とワクチン接種を呼びかける。 また、重症化リスクや症状等に応じた受診の呼びかけを行う。
さらなる感染拡大時(レベル3移行時)の対応	<p>さらに感染が拡大し警戒レベル3に移行した場合は、医療ひっ迫防止対策強化宣言を行い、県民や事業者等に対して医療ひっ迫を防ぐための協力要請・呼びかけを実施する。</p> <p>【協力要請・呼びかけ例】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大人数の会食や大規模イベントへの参加は見合わせることを含めて慎重に検討判断する。・ 濃厚接触者となった医療従事者が待機期間中であっても抗原定性検査を行い医療に従事できるよう、医療機関においては可能な限り対応する。・ 高齢者施設等の利用者に対して一時帰宅時等の節目でのPCR等検査を行う。 等

県民の皆様へのおお願い

沖縄県内では、過去2年間、**年末年始に感染が拡大**しております。

県民・事業者の皆様におかれましては、**感染への備えと感染対策のご協力**をお願いいたします。

- ◆ 従来型ワクチンを上回る重症化予防効果が期待される**オミクロン株対応ワクチンの接種**を積極的に検討してください。
- ◆ **日頃から**3密を回避し、換気・適切なマスクの着脱・手指消毒・毎日の健康観察を習慣化しましょう。
- ◆ **会食や友人との交流の際は**、できるだけ大人数、長時間の集まりを控えてください。
- ◆ 発熱、のどの痛み、咳、鼻水など、**少しでも症状がある場合**、通勤、通学、外出、会食を控えてください。

1 ワクチン接種は

- 法24条第9項 協力要請
- 法によらない協力依頼

オミクロン株対応ワクチンの接種をお願いします

- 12歳以上の対象者につきましては、重症化予防効果と今後の変異株に対する有効性が期待されるオミクロン株対応ワクチンの接種を、積極的に検討してください。**生後6か月以上12歳未満の対象者も接種の検討をお願いします。**
- ワクチン接種を最新の状態にすることで、重症化等のリスクが低下します。高齢者施設等の入居者やデイサービスの利用者は、集団感染のリスクが高いため、できるだけ接種を進めてください。
- 冬場における季節性インフルエンザの流行が懸念されるので、インフルエンザワクチンの定期接種もお願いします。

日頃から

感染対策を心がけ、「密集・密接・密閉」を回避するようお願いします

- 換気、**場面に応じた適切なマスクの着脱**、手指消毒、毎日の健康観察を習慣化しましょう(特に、高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦)。
- 感染に備え、家庭には、少なくとも3日分の食料と医療用(一般用)の抗原検査キット、解熱剤等の医薬品を常備しましょう。

3 会食や友人との交流の際は

できるだけ大人数、長時間の集まりを控え、屋内や会話する場面ではマスクを着用しましょう

- 子どもが集まる場面(学童、学習塾等)では、換気や**場面に応じた適切なマスクの着脱**などの感染対策を大人がチェックすること。
- できるだけ同居家族やいつも一緒にいる方と会食を行うこと。大人数で会食を実施する場合は、できるだけ検査で陰性を確認すること。
- 大人数でマスクを外すイベントは控える、又は検査で陰性を確認しましょう。
- 会食にあたっては「感染防止対策認証店」を利用し、感染防止対策が徹底されていない飲食店等の利用は控えること。
- 感染防止対策認証店以外の店を利用する場合、4人以下2時間以内で行うこと。

体調不良のときは

発熱、のどの痛み、咳、鼻水など、少しでも症状がある場合、通勤、通学、外出、会食を控えてください

- 風邪症状を認めるときには、1週間程度は重症化リスクの高い高齢者、妊婦等には会わないように注意してください。
- **高齢者や妊婦、透析患者を含めかかりつけ医がいる方はかかりつけ医を利用し、症状が辛い方(水分がとれない等)で受診を希望する方は、県の発熱コールセンターに相談してください。**
- **軽症であれば医療用(一般用)の抗原検査キットを活用し、市販薬で自宅療養してください。**
- 救急医療を守るため、軽症の場合や検査目的での救急病院の受診は控えるとともに、救急車の適正利用をお願いします。

来訪者(沖縄への来訪を検討している)の皆様へ

【来訪前:法によらない協力依頼】
【来訪後:法24条第9項 協力要請】

- 来県前には、十分な健康観察を徹底した上でお越してください。体調不良の際には来県を延期いただき、改めての来県をお待ちしております。また、来県前・来県時においては、基本的な感染対策の徹底をよろしくお願いいたします。
- 修学旅行で来県される方々は、感染防止対策を徹底した上で、別途「沖縄修学旅行防疫観光ガイドライン」等に基づいた行動をお願いします。
- その他、旅行等で、来県する前には、旅行開始の2週間前までにワクチン接種を最新の状態にすることを推奨します。
- 帰省や民泊、イベント参加など旅先での感染リスクが高い場合、PCR等検査で陰性を事前に確認してください。
- 年末年始の期間を安全・安心にお過ごしいただくため、帰省前、帰省先から戻った際に、PCR等検査を受けていただくようお願いします。
- PCR等検査は、全国で1万3千箇所以上あるお近くの無料検査事業の拠点で、無料で受けられます。
(各拠点は、都道府県ホームページ等でご確認いただけます。)
- 持病のある方は、旅行中無理をせず体調管理を心がけましょう。また、ご自身が日頃処方されている薬を把握し、来県する際には、持病の薬を旅行日程分より多めに持参してください。
- 沖縄県新型コロナ対策パーソナルサポート(RICCA)で、感染状況など情報を発信しておりますので、ご活用ください。
- 沖縄滞在中に体調不調や発熱があった場合は、旅行者専用相談センター沖縄にご相談ください。
【旅行者専用相談センター沖縄(「TACO」:Traveler's Access Center Okinawa)】
電話番号:098 - 840 - 1677 運営時間:8:00 ~ 21:00(年中無休)

飲食店等の皆様へ

【 :法24条第9項 協力要請】
 【 :法によらない協力依頼】

対象施設	(飲食店)飲食店(宅配・テイクアウトを除く) (遊興施設・結婚式場等)バー、カラオケボックス、結婚式場等で食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗
要請内容	<p>沖縄県感染防止対策認証店については、引き続き、業種別ガイドラインの遵守など、感染防止対策を徹底し、「安全・安心な店」づくりをお願いします。</p> <p>店舗内の衛生管理:店内の十分な換気を行うことや、お客様が触れる場所・器具の消毒</p> <p>従業員等の安全衛生管理:従業員の就業前の日々の検温等体調管理の徹底、ワクチン接種推奨</p> <p>お客様の安全:入店時の検温、手指消毒の徹底、余裕をもった配席など</p> <p>(軽度であっても発熱その他の症状のある方の入店のお断りや、お客様への感染防止対策の協力の周知) 等</p> <p>沖縄県感染防止対策認証店以外の店舗については、同一グループ・同一テーブル原則4人以下とすること。</p> <p>沖縄県感染防止対策認証店以外の店舗については、利用者に利用時間を2時間以内とする呼びかけをお願いします。</p> <p>沖縄県感染防止対策認証店以外の店舗については、感染防止対策を徹底し、早期に「沖縄県感染防止対策認証制度(第三者認証)」を取得することを推奨します。</p>

- ◆ イベント主催者等に対して、規模要件等(人数上限・収容率等)に沿った開催をお願いします。
- ◆ その際、同一イベントにおいて、「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合の収容率の上限は、それぞれのエリアで、収容定員の半分まで可(大声あり)・収容定員まで可(大声なし)とします。

	施設の収容定員(1)		
	5,000人以下	5,000人超～10,000人以下	10,000人超
大声なし	収容定員まで可	5,000人まで可(3)	収容定員の半分まで可(3)
大声あり(2)	収容定員の半分まで可		

1:収容定員が設定されていない場合は以下のとおりとする。

- ・大声なし 密が発生しない程度の間隔(最低限人と人が接触しない程度の間隔)を空けることとする。
- ・大声あり 十分な人と人との間隔(最低1m)を空けることとする。

2:「大声」は、「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨するまたは必要な対策を十分に施さない催物を「大声あり」に該当するものとする。

3:感染防止安全計画の作成・実施を条件に人数上限は収容定員まで可能となる。

- 主催者は、業種別ガイドラインの遵守を徹底すること。
- 参加者が5,000人超かつ収容率50%超のイベント(収容定員が設定されていない場合においては、5,000人超の参加が見込まれ、かつ十分な人と人との間隔が確保できない(身体的距離が1m確保できない)イベント)については、主催者がイベント開催の2週間前までを目途に具体的な対策内容を記載した「感染防止安全計画」を作成し、県へ提出すること。
- 県が求める要請を満たさない場合は、要請に沿って見直すか又は自粛すること。
- 全国的な感染拡大やイベントでのクラスターが発生し、国が収容率要件、人数上限の見直し等を行った場合には、迅速に対応すること。
- 多くの人が集まるイベントについては、来場者に対し、ワクチン接種を最新の状態にするか又は事前のPCR等検査での陰性確認を勧奨すること。
- 飲食を提供する場合、主催者は会場内に飲食するエリアを指定して、それ以外の場所では飲食しないよう求めること。また、**飲食時の感染対策(食事中以外のマスク着用等)を徹底するよう周知すること。**
- アルコールを提供する場合は、指定された飲食エリア以外では飲酒しないよう求めるとともに、飲食エリア内であっても長時間の飲酒や大声など感染リスクの高い行動を防ぐための呼びかけを行うなど、適切な感染対策をお願いします。
- 感染防止安全計画を策定しないイベントについては、チェックリストの作成等を通して感染対策を徹底すること。
(詳細は「イベントの開催制限について(<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/koho/20200828.html>)」を確認)

商業施設、集客施設の皆様へ

【法24条第9項 協力要請】

特措法施行令第11条第1項に規定する運動施設、遊技場、映画館、ショッピングセンター等の施設に以下の感染対策を実施すること。

- 業種別ガイドラインの遵守等、感染防止対策の徹底
- 入場者が密集しないよう整理・誘導（特に集客イベントを実施する場合は、密集・密接しないように取り組むこと）
- 入場者へマスクの着用徹底等の呼びかけ
- 会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置（特にフードコートについて、アクリル板等の設置又は座席の間隔の確保、換気の徹底などの措置）

事業者の皆様へ

【法24条第9項 協力要請】

- 従業員の体調管理を徹底し、体調の悪い方は、出勤しない・させないこと。
- 従業員が陽性者や濃厚接触者となった場合等において、当該従業員を出勤させる際にPCR等検査の陰性証明を求めないこと。
- 在宅勤務(テレワーク)、テレビ会議、時差通勤の拡大など、通勤・在勤時の密を防ぐ取組をすること。
- **事業継続が求められる業種は、事業継続計画(BCP)の策定や再点検を行うこと。**
- 業種別に定める新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインを遵守すること。
- 職場でワクチン接種を勧奨すること(接種しやすい環境の整備をお願いします)。
- 子どもの自宅療養や小学校等の臨時休業に対応するため、従業員が看護や世話をしやすい環境を整備すること(小学校休業等対応助成金等の活用による従業員の有給休暇制度の創設等をお願いします)。
- 換気扇の常時稼働や窓開けの追加など、エアロゾル感染に対応した屋内の効果的な換気等を行う。

高齢者施設、障害者施設へのお願い

【法24条第9項 協力要請】

- 従業員の体調管理を徹底し、体調の悪い方は、出勤しない・させないこと。
- **「高齢者施設・障害者施設における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル(沖縄県コロナ対策本部)」及び「介護現場における感染対策の手引き(厚生労働省)」に基づき対応すること。**
- **クラスターが起こりうることを前提に事業継続計画(BCP)の策定に努め、陽性者の周囲への一斉検査を実施すること。**
- 換気扇の常時稼働や窓開けの追加など、エアロゾル感染に対応した屋内の効果的な換気等を行う。
- **事前の検査など感染防止対策を行った上での面会を実施すること。面会は利用者・家族にとって重要であることから、地域における発生状況や、体調・ワクチン接種歴・検査結果等も考慮し、対面での面会を含めた対応を検討すること。**
- 従業員向け定期検査を行いや利用者にワクチン接種を勧奨すること(接種しやすい環境の整備をお願いします)。

各市町村における県と連携した取組の実施

【法24条第9項 協力要請】

- 防災無線、広報車等を活用した地域住民への感染防止対策の周知啓発及び自治会等への協力の呼びかけ。
- 市町村におかれましては、**オミクロン株対応**ワクチン接種の加速化を図ってください。
- ケアマネージャーをはじめ介護福祉関係者を通じて、要介護高齢者の接種状況の確認と接種の勧奨をお願いします。
- 地元市町村で行われるイベントについて、県の基準を満たさないものは、対処方針の要請に沿って見直すか自粛を促すこと。

学校等へのお願い

【法24条第9項 協力要請】

- 衛生管理マニュアル等を踏まえた対応を基本とし、換気扇の常時稼働や窓開けの追加など、エアロゾル感染に対応した屋内の効果的な換気を行うとともに、**屋外で周囲に人がいなければマスクを外すなど場面に応じた適切なマスクの着脱を周知する。**
- 健康観察表や健康観察アプリなども活用しながら、教職員及び児童生徒等の健康観察を徹底し、体調不良時は出勤、登校及び部活動等を控えるよう周知すること。
- 部活動は、感染防止対策を徹底し、活動開始時・各種大会前には健康チェックを行うこと。
- **部活動の実施中以外の練習場所や部室等の共用エリアの利用、部活動前後の集団で飲食する場面やバスなどでの移動に当たっては、マスクの着用を含めた感染対策を徹底すること。**
- **未就学児・小中学生・高校生の有症状者及びその濃厚接触者となりうる同居家族が、自宅で抗原定性検査が実施できる「RADECO」の活用を促進すること。**
- 教職員や児童生徒等が陽性者や濃厚接触者となった場合等において、当該教職員等を出勤、登校させる際にPCR等検査の陰性証明を求めないこと。



沖縄県ではこれまでの2年間、 年末年始に感染が拡大しています！！



感染拡大を抑制し、社会経済活動を継続するため、以下の対策にご協力をお願いします。

1. ワクチンを接種しましょう

発症予防・重症化予防を図るため、**ワクチン接種**を検討してください。

年末年始に帰省される方、成人式等のイベントに参加される方、受験を控えている方などは、**早め**に**ワクチン接種**すると**安心**です。

県広域ワクチン接種予約はコチラ



2. 感染対策を心がけましょう

3密を避け、こまめな**換気**、場面に応じた**適切なマスクの着脱**をお願いします。

できるだけ大人数での会食を控え、**体調が悪い方は参加しない、させない**を徹底してください。

年末年始は多くの医療機関が休診となるため、**発熱**した場合に備え、各家庭で**3日分の食料と抗原検査キット、解熱剤等**を準備しましょう。

新型コロナとインフルエンザの同時流行に向けた備え



3. 軽症の方は、検査キットを活用し、 陽性者は自宅療養してください

高齢者や妊婦、透析患者を含めかかりつけ医のいる方は、**かかりつけ医**を利用してください。

水分や食事がとれない、ぐったりしている等の場合には、**県の発熱コールセンター**に相談し、**発熱外来、かかりつけ医**を受診してください。

検査キットで陽性の場合、**陽性者登録センター**へ登録してください。(登録はQRコードから)



4. 帰省やイベント参加の際には、 体調管理を徹底してください

県内に**帰省**される方、**大人数でマスクを外すイベント**に参加される方は、**PCR等検査**で陰性を確認してください。

できるだけ**密集**を避け、忘年会など**会食する**場面で**会話する際はマスクを着用**するなど、**感染対策の徹底**をお願いします。

イベントにおけるコロナ対策

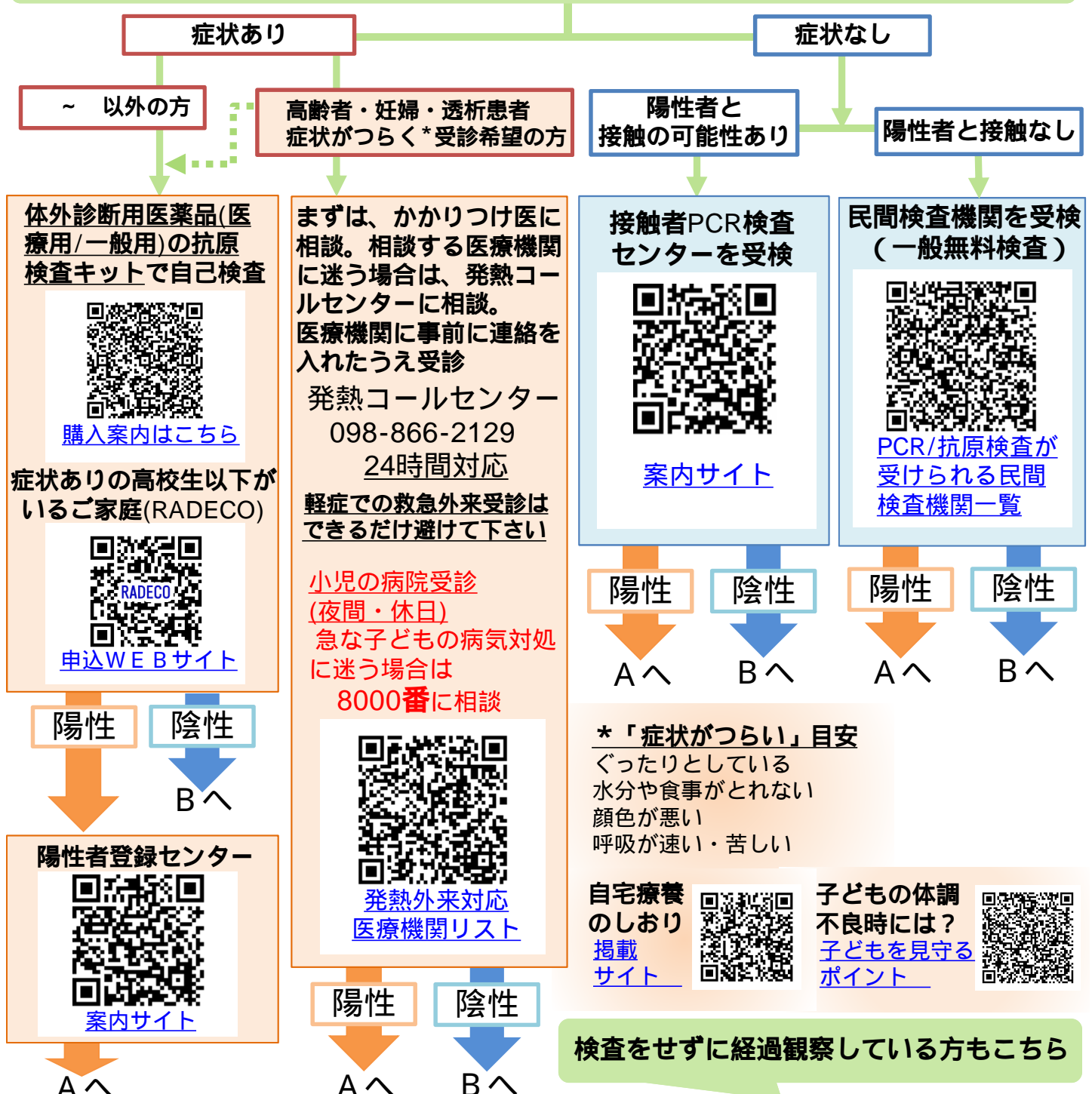


コロナかな？ と思ったら

あなたを守り、医療を守るために協力いただきたいこと



新型コロナに感染していないか不安があり、検査を受けたい



***「症状が辛い」目安**
ぐったりとしている
水分や食事がとれない
顔色が悪い
呼吸が速い・苦しい

自宅療養のしおり掲載サイト

子どもの体調不良時には？子どもを見守るポイント

検査をせずに経過観察している方もこちら

A. 陽性の場合

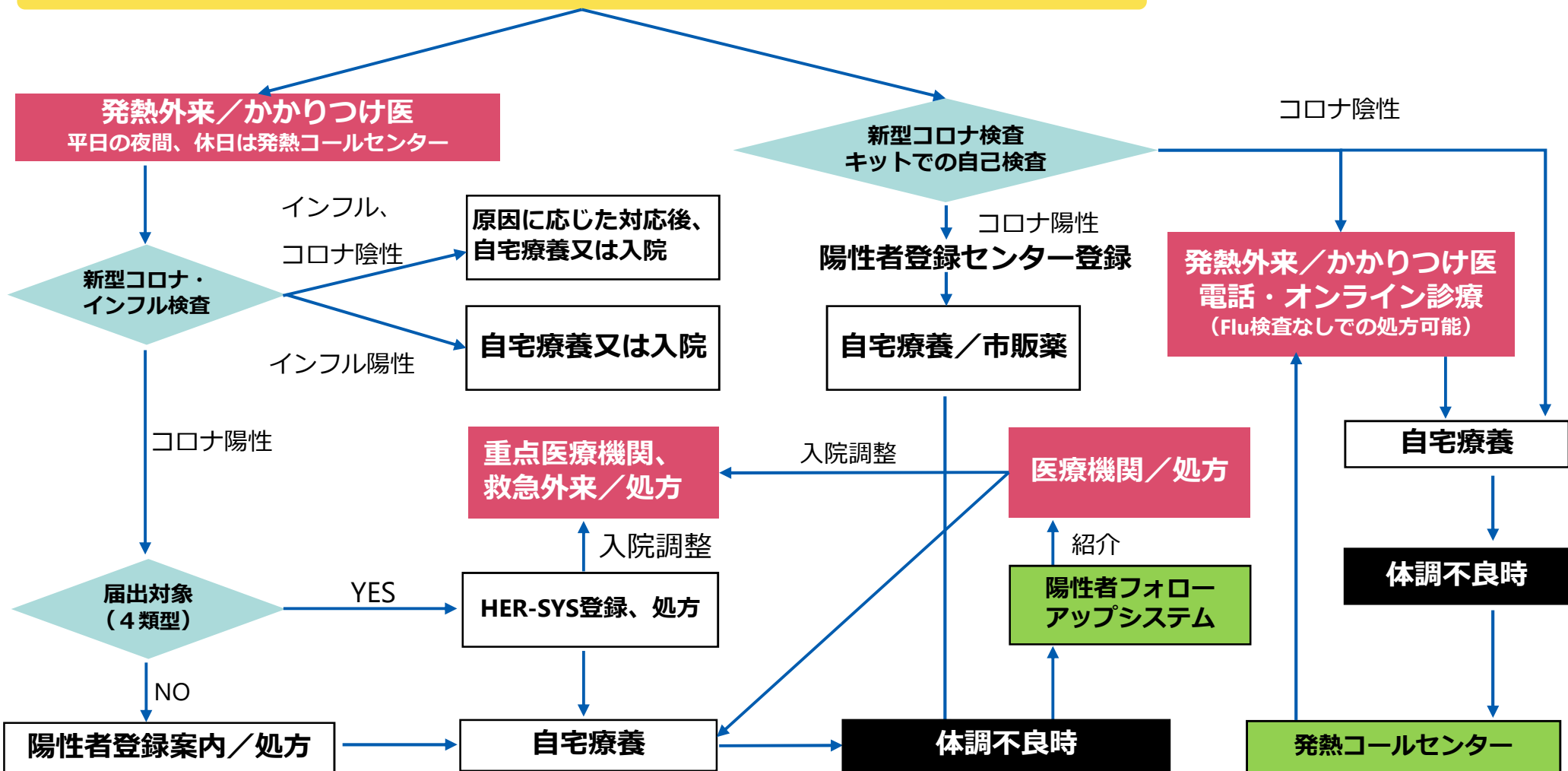
- 以下の ~ にあてはまる方は、「陽性者登録センター」へ申請すると共に、「自宅療養のしおり」を参考に自宅療養し、療養中の相談事についてはフォローアップシステムをご活用(098-894-8291)下さい。
65歳未満、入院が不要、重症化リスクがない(治療薬又は酸素投与の必要がない)、妊娠していない
- 上記 ~ 以外の方は、沖縄県コロナ対策本部より届くSMS等の案内に従って療養を行って下さい。

B. 陰性の場合(検査を希望しない方)
感染していても結果が陰性となる場合がありますので、引き続き感染対策にご協力下さい。
急な発熱・筋肉痛等の症状のある方は、インフルエンザ等ほかの疾病の可能性もあります。
かかりつけ医に相談、または人との接触避け自宅で療養を続け、悪化する場合は受診を検討して下さい。
発熱外来医療機関について 10
発熱コールセンター(098-866-2129)

新型コロナ・インフルエンザの大規模な流行が同時期に起きる場合に備えた 外来受診・療養の流れ（平時）

平時＝沖縄県警戒レベル1 感染小小康期

発熱等体調不良を訴える方（重症化リスクの程度を問わない）



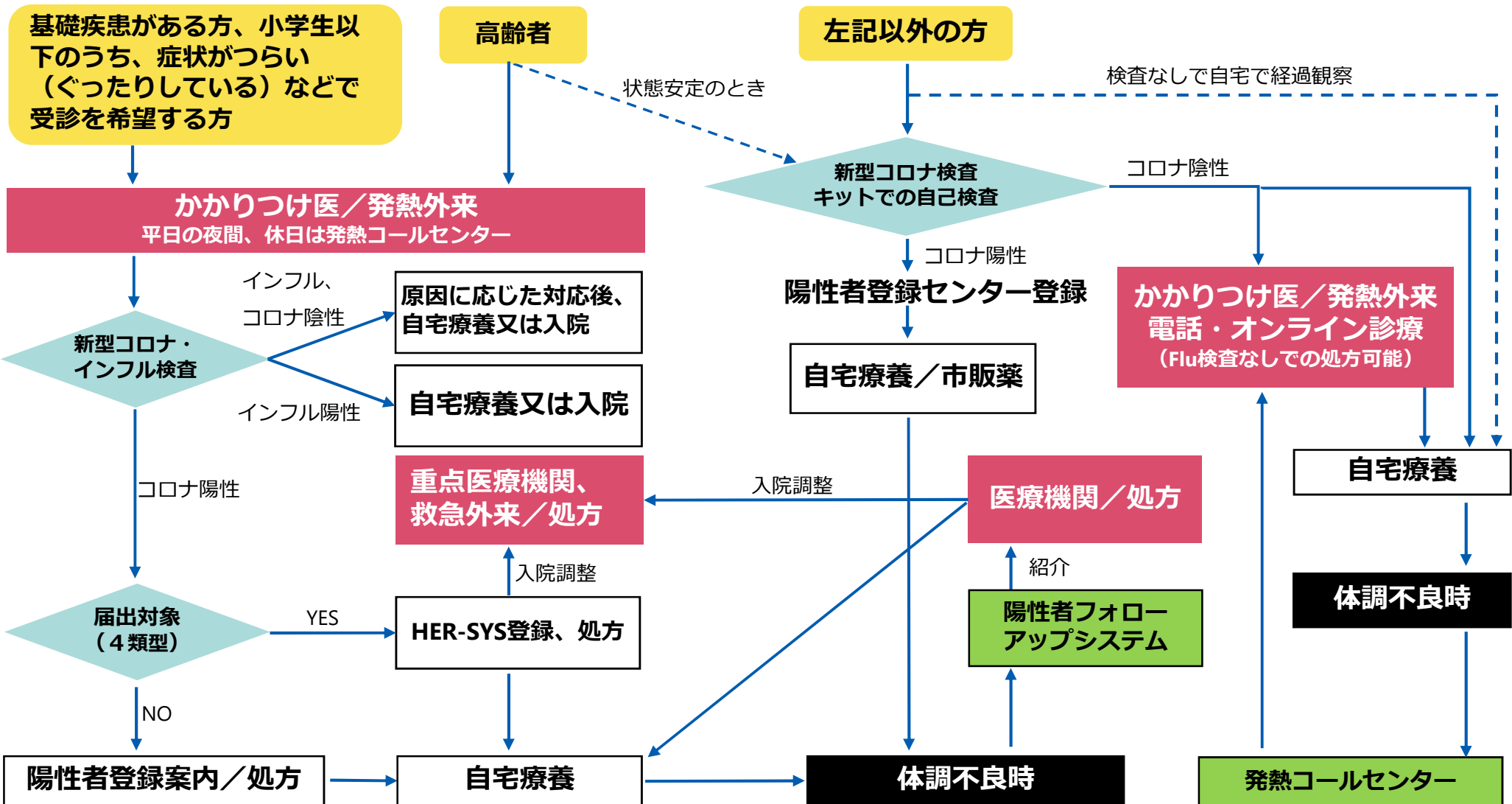
※ 自宅療養中の体調変化時等には、受診した医療機関やかかりつけ医を受診する。

かかりつけ医がない場合は、陽性者フォローアップシステム、発熱コールセンターに連絡する。

新型コロナ・インフルエンザの大規模な流行が同時期に起きる場合に備えた 外来受診・療養の流れ（感染拡大時）

【感染拡大時＝沖縄県警戒レベル2以上】

- 注意1 意識障害、呼吸困難等がある場合には、ためらわずに救急受診してください。
- 注意2 基礎疾患がなくとも、水分や食事がとれない、ぐったりしている等の場合には、かかりつけ医、発熱外来を受診してください。
- 注意3 高齢者でかかりつけ医のいる方は、まずは、かかりつけ医に相談してください。いない方は、発熱コールセンターに相談してください。
- 注意4 妊婦、透析患者は、陽性と判明したら必ずかかりつけ医に連絡してください。

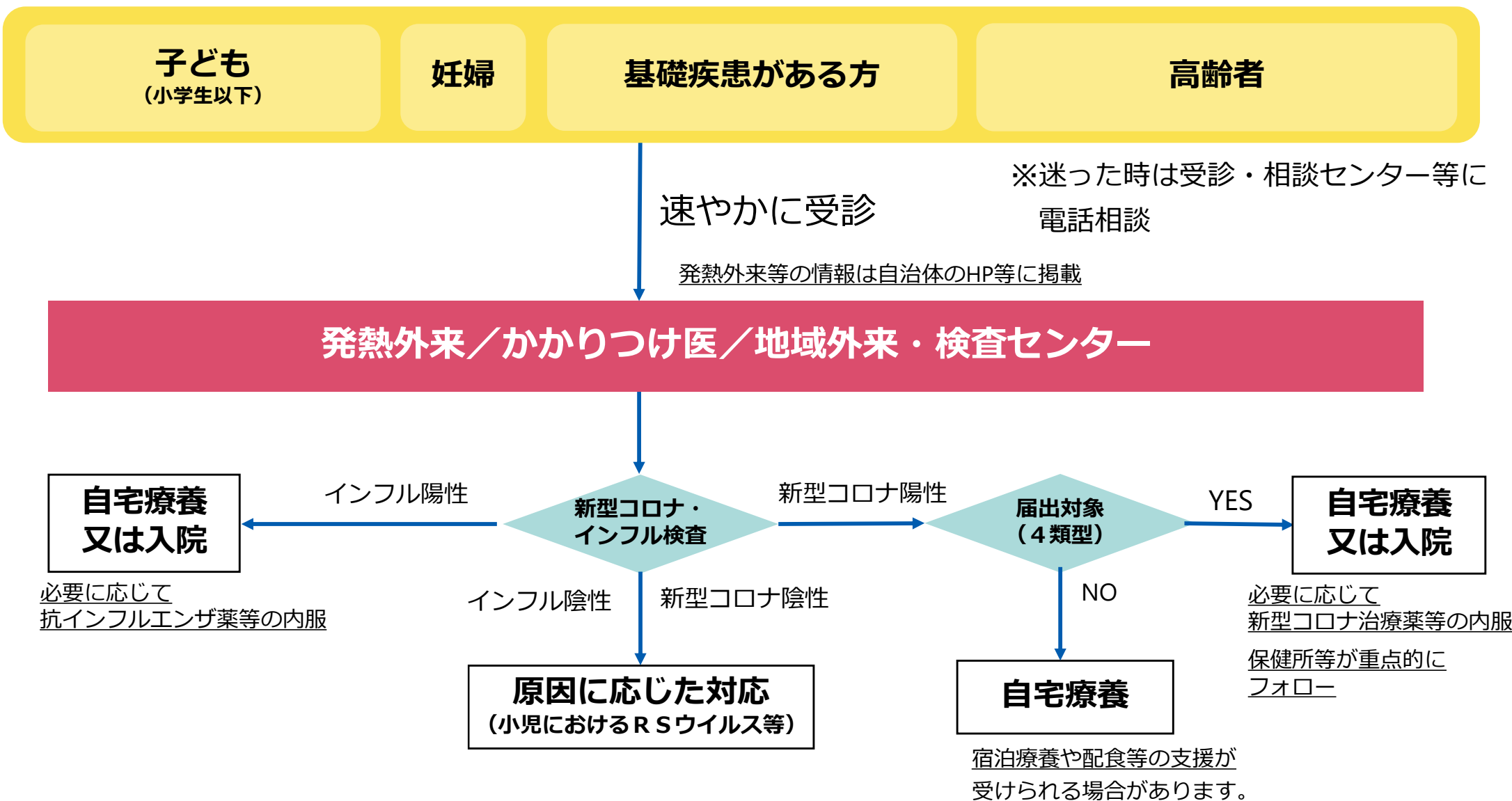




新型コロナ・インフルエンザの大規模な流行が同時期に起きる場合に備えた**重症化リスクの高い方**の外来受診・療養の流れ（イメージ）

<重症化リスクの高い方の発熱等体調不良時の外来受診・療養の流れ>

※このフローは標準的なモデルです。
各地域の状況に応じて変更される場合があります。



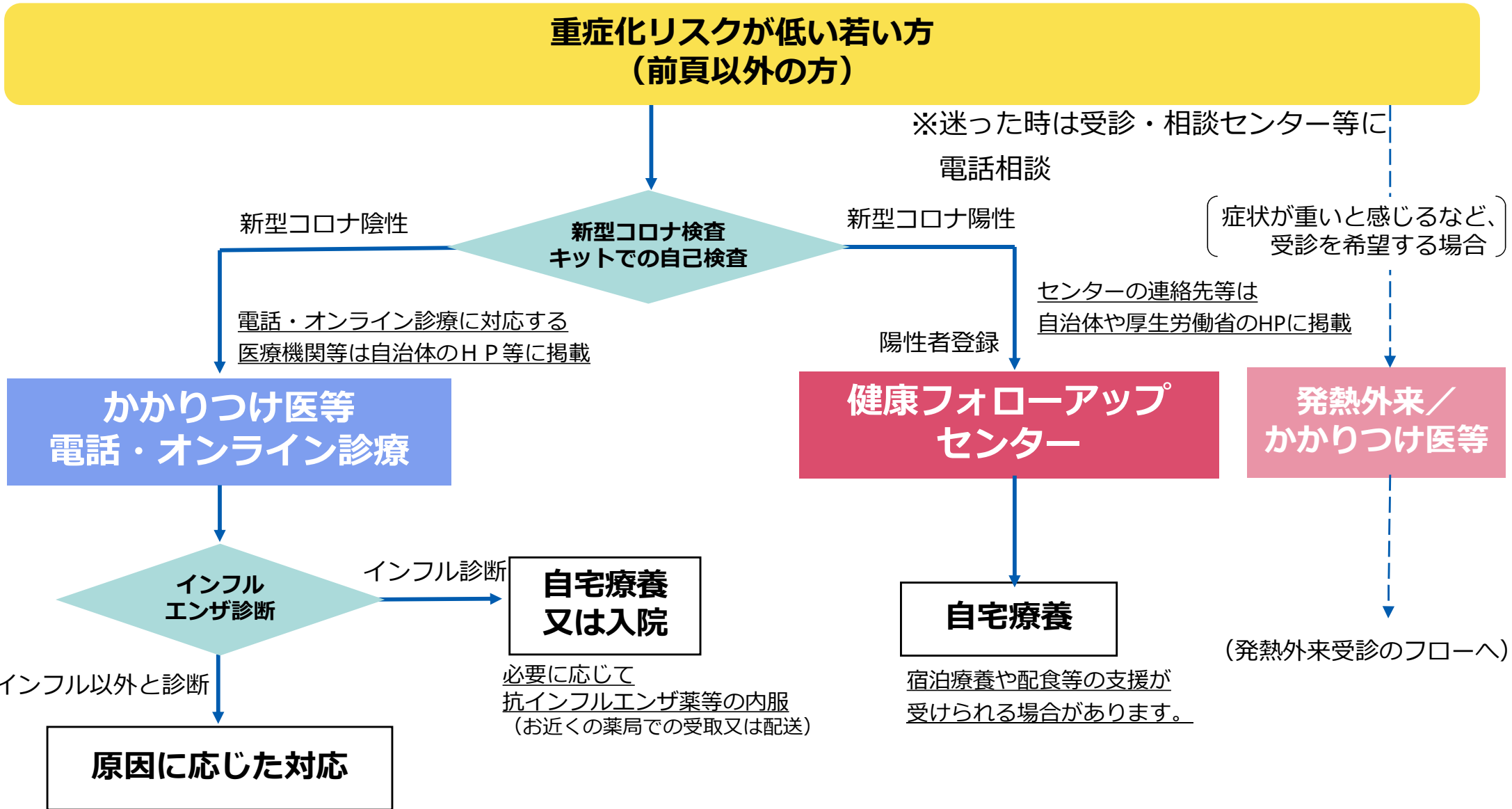
※自宅療養中の体調変化時等には、受診された医療機関や登録されている健康フォローアップセンターにご連絡ください。



新型コロナ・インフルエンザの大規模な流行が同時期に起きる場合に備えた重症化リスクが低い方の外来受診・療養の流れ（イメージ）

<重症化リスクが低い方の発熱等体調不良時の外来受診・療養の流れ>

※このフローは標準的なモデルです。
各地域の状況に応じて変更される場合があります。



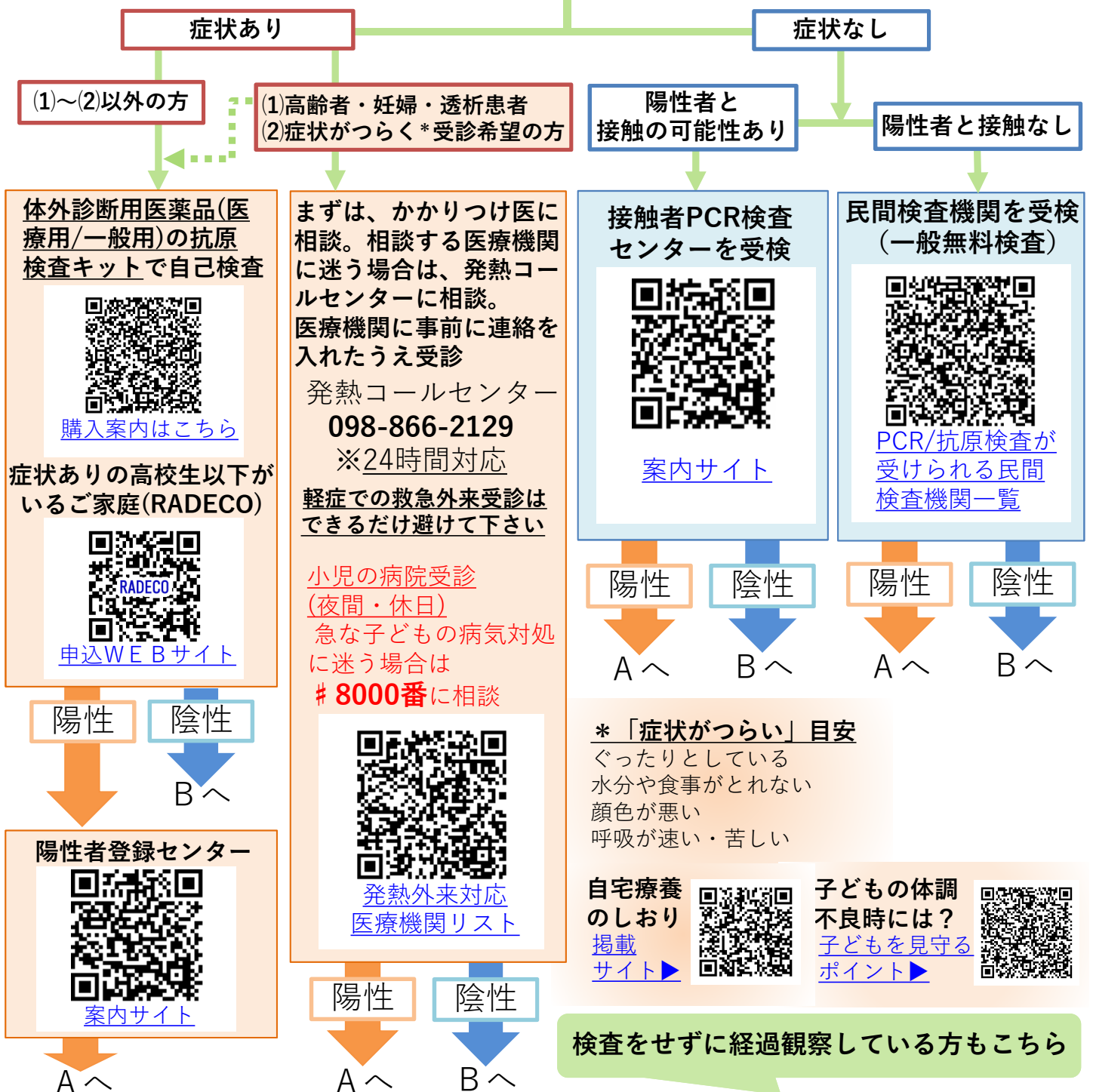
※自宅療養中の体調変化時等には、受診された医療機関や登録されている健康フォローアップセンターにご連絡ください。

コロナかな？ と思ったら

あなたを守り、医療を守るために協力いただきたいこと



新型コロナに感染していないか不安があり、検査を受けたい



*** 「症状が辛い」目安**
 ぐったりとしている
 水分や食事がとれない
 顔色が悪い
 呼吸が速い・苦しい

自宅療養のしおり掲載サイト

子どもの体調不良時には？ 子どもを見守るポイント

検査をせずに経過観察している方もこちら

A. 陽性の場合

- 以下の①~④にあてはまる方は、「陽性者登録センター」へ申請すると共に、「自宅療養のしおり」を参考に自宅療養し、療養中の相談事についてはフォローアップシステムをご活用(098-894-8291)下さい。
 - ① 65歳未満、② 入院が不要、③ 重症化リスクがない(治療薬又は酸素投与の必要がない)、④ 妊娠していない
- 上記①~④以外の方は、沖縄県コロナ対策本部より届くSMS等の案内に従って療養を行って下さい。

B. 陰性の場合 (検査を希望しない方)

感染していても結果が陰性となる場合がありますので、引き続き感染対策にご協力下さい。
 急な発熱・筋肉痛等の症状のある方は、インフルエンザ等ほかの疾病の可能性もあります。
 かかりつけ医に相談、または人との接触避け自宅で療養を続け、悪化する場合は受診を検討して下さい。
発熱外来医療機関について
 ▶ 発熱コールセンター (098-866-2129)